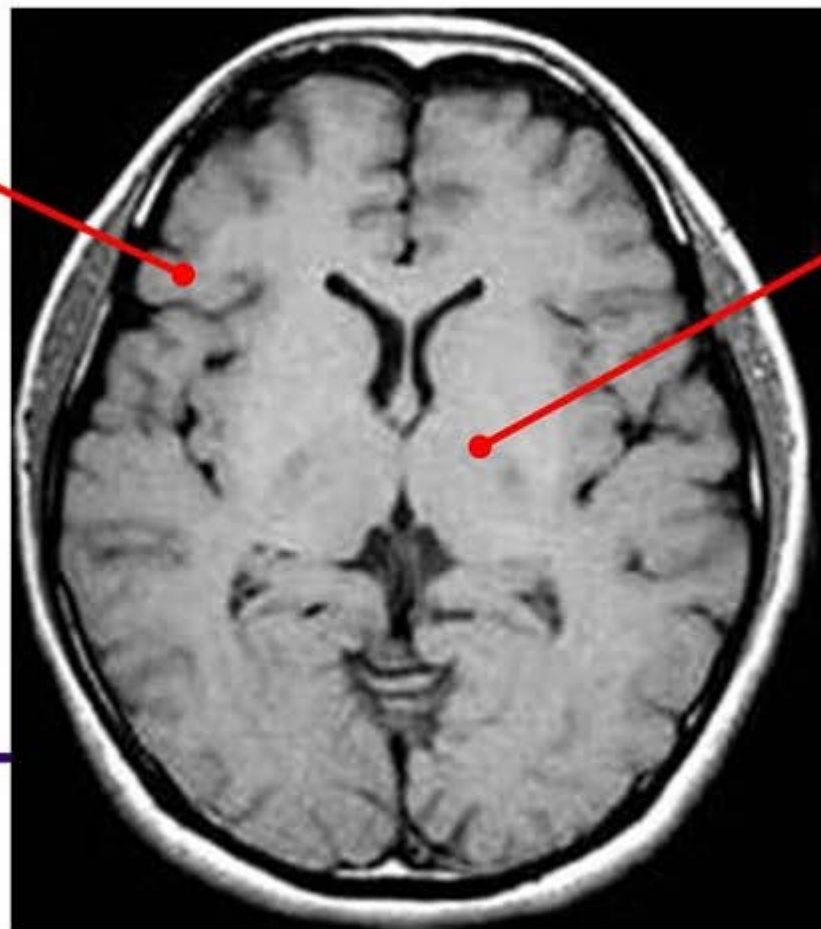


大脳皮質の構造

灰白質
(神経細胞)

電気信号を
発信する

コンピューター
のチップ



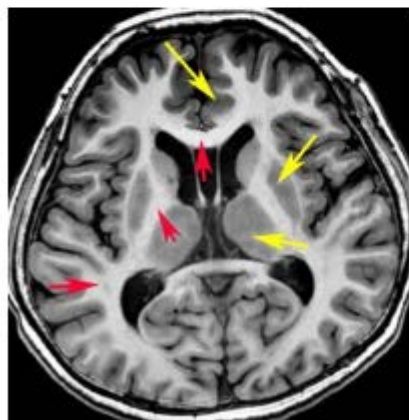
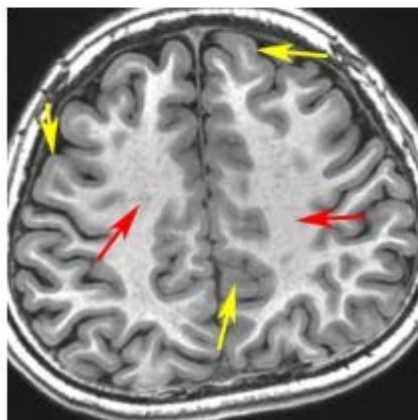
白質
(神経線維)

電気信号を
伝達する

チップをつなぐ
ネットワーク

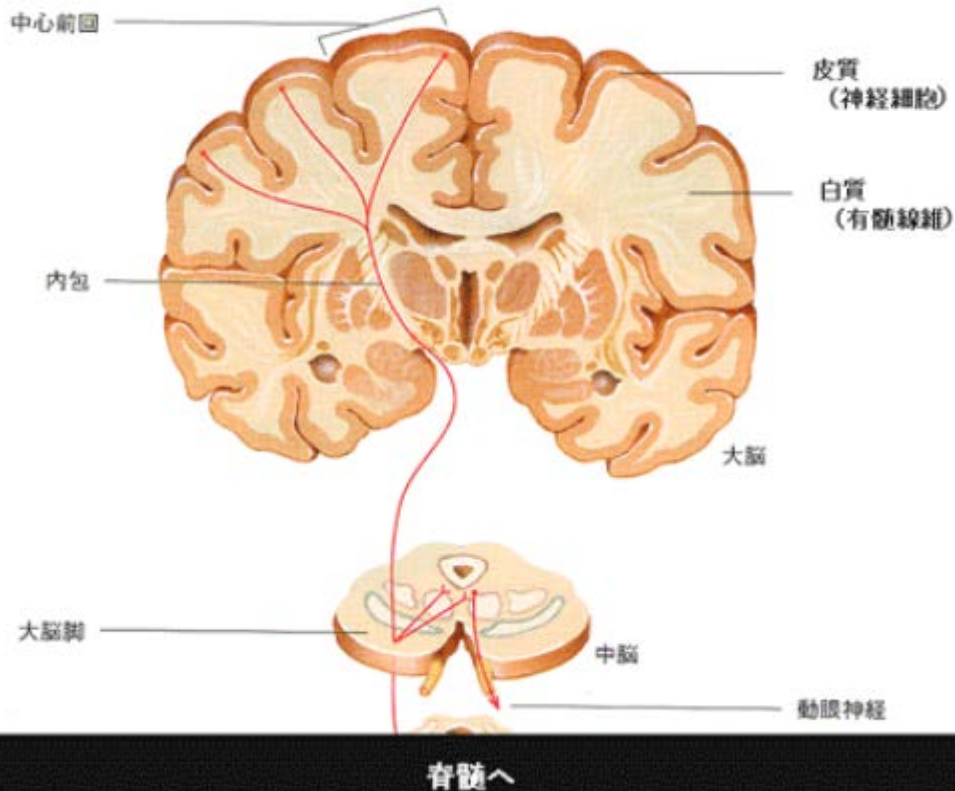
白質と灰白質，大脳皮質

- 脳の病気の説明で，大脳皮質，白質 white matterと灰白質 gray matterという言葉がよく使用されます
- 灰白質は，脳の表面の神経細胞のいるところです
- 白質は，灰白質の内側にあつて神経細胞の連絡路（軸索）です
- 大脳皮質は，脳の表面にある灰白質のことだけをさします，視床とかは含まれません
- 灰白質は，大脳基底核とか視床とか脳の深部にもあります
- 白質で重要な呼び名は，放線冠，内包，脳梁などです
- たとえば病気を表現する時に，皮質形成異常とか皮質性病変とか，白質脳症とか深部白質病変とかいいます



黄色い矢印が灰白質（灰色に見える），赤い矢印が白質です（白く見える）

白質とは



大脳と脊髄では、内外側で 灰白質と白質が逆になります

【大脳】

外側(大脳皮質)：灰白質

内側(大脳髄質)：白質



【脊髄】

外側(前索・側索・後索)：白質

内側(前角・中間質・後角)：灰白質

